

倫理規範



目次

|

|

|

|

|

|

|

|

ラビからのメ ッセージ



コグニザントの皆さんへ

日々のあらゆる場面（クライアント、パートナー、あるいは社員同士のやり取り）において、私たちは自分たちが何者であるかというメッセージを発信しています。コグニザントにおいて、そのメッセージは明快です：それはすなわち、「私たちに信頼してください」ということです。

信頼は、私たちの成功の基盤です。信頼の構築には数十年を要しますが、たった一度の過ちでその信頼は危機にさらされます。だからこそ、誠実さは単なる個人的な価値ではありません。それは共に担うべき責任です。

当社の倫理規範は、最も大切なものを守る助けとなります。大切なものとは、すなわち当社の評判です。本倫理規範は、当社が事業を展開するあらゆる市場において、法的、倫理的、かつ敬意を持ってビジネスを行うための指針となります。

本規範では、以下の事項を明確に定めています：

- 私たちは、あらゆる適用法令を遵守します
- 正しくないことがあれば、声を上げます
- ビジネスを勝ち取るために不正な近道はしません
- 全ての人に敬意をもって接します

次に挙げる期待事項は、私たちが実践する価値観を反映したものです：

1つのチームとして働きます。

協力と信頼は密接に結びついています

自ら責任を果たす

会社、同僚、そしてクライアントのために

さらなる高みを目指します

私たちは、行動とパフォーマンスの両面において卓越性を追求します

正しいことを行う

とりわけ困難な時にこそ必要な態度です

大胆に革新する

大胆かつ責任を持って行動します

誠実さをもって行動することは、単に間違いを避けることだけではありません。リーダーシップの在り方、信頼を勝ち取る方法、そして共に成長する姿勢こそが肝心なのです。さあ、ともに道を開いていきましょう。

ラビ・クマールS
最高経営責任者

当社の規範

コグニザントの信条

近代的なビジネスをつくり出し、日常生活を改善する。これが私たちの目的であり、その方法は今まで以上に重要になっています。

- 私たちの目的の中心にあるのは、クライアントのビジネスだけでなく、業界のリーダーとしての運営方法を改善したいという願望です。市場で差別化を図る方法のひとつは、最高水準の誠実さを維持することです。当社の評判と成功は、この誠実さにかかっています。誠実さこそが、当社の価値観の中核をなしているのです。
- 当社は、皆さんが当社の誠実さの基準に従って行動するための指針として、この倫理規範（以下「本規範」）を作成しました。適用される全ての法令や規制を遵守することは出発点にすぎませんが、それだけで誠実さへの追求が終わるわけではありません。本規範を参照することは、コグニザントを代表するにふさわしい意思決定を行い、行動をとるために必要なステップでもあります。
- 本規範の原則は、コグニザントの倫理・コンプライアンスプログラムの基礎となるものであり、取締役会の承認と全面的な支持を得ています。取締役会は、倫理およびコンプライアンス・プログラムの監督責任を負っています。

• 本規範に従うべき人の範囲は？

本規範は、世界各地におけるコグニザントの取締役、役員、従業員、事業部門、子会社、コグニザントが経営上の支配権を持つジョイントベンチャーの全てに適用されます（以下、総称して「社員および関係者」といいます）。

• 本規範に違反した場合はどうなりますか？

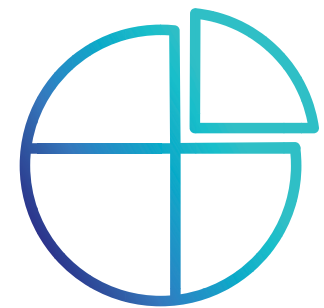
違反の深刻さによっては、ステークホルダーからの信頼が損なわれ、当社のブランド価値が傷つく可能性があります。そのため、本規範、当社の方針、または法令への違反があった場合には、違反者は解雇を含む懲戒処分の対象となる場合があります。事案の深刻度によっては、関与した個人およびコグニザントに対して、民事上または刑事上の責任が問われる可能性もあります。

私たちの価値観、企業文化の基本

倫理規範は、コグニザントのコアバリューと直接結びついています。コアバリューは、私たちの働き方を定めるとともに、私たちが最善の状態では業務にあたるときの姿勢を映し出すものです。当社の価値観は、私たちがどのように目標を達成するか、そのプロセスの重要性を強調しています。こうした価値観はコグニザントの成功の基盤であり、あらゆる活動において、協力、卓越性、誠実さ、そして説明責任の実践を促す原動力となります。

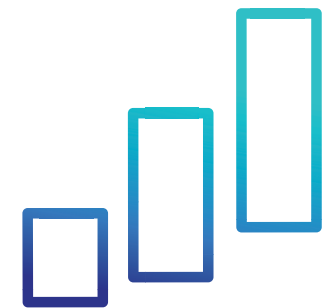
こうした価値観を実践することで、全ての社員および関係者が共通の成功に貢献できる、前向きで生産的な職場環境を築くことができます。当社はこうした価値観への取り組みを揺るぎなく堅持します。

本規範は、正しいことを行うための指針となるロードマップです。一方で、本規範は、組織全体での意思決定を導く上での基盤となる他の各価値観も包含しています。



1つのチームとして働きます。

私たちはそれぞれの役割を超えて考え、チームとして成果を上げるためにお互いの強みを活かします。



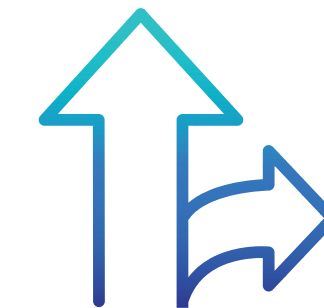
さらなる高みを目指します

私たちは常に、仕事の進め方と提供する成果物の両面において卓越性を追求します。



大胆に革新する

私たちは限界を押し広げ、新たな可能性を再考する機会を積極的に活用します。



正しいことを行う

私たちは皆、誠実さを指針として行動し、倫理的な選択を行います。



自ら責任を果たす

私たちは、会社、同僚、そしてコミュニティに対する成果に責任を持ちます。

当社の倫理規範の原則

本規範の原則は、コグニザントにおいて「正しいことを行う」ことの真の意味を定義しています。また、本規範の原則は、私たちが理想とする職場環境と、社員、クライアント、コミュニティといったステークホルダーに対して目指すべき企業の姿を具体化したものです。

本規範が定める原則は次のとおりです：

01



信頼を得る

私たちは、単に法文を遵守するだけでなく法律の精神に従い、日々の事業活動に倫理基準を取り入れることで、信頼されるビジネスパートナーとなるよう常に努力しています。

02



人と環境を大切にする

私たちは、安全で健康的な職場環境の整備と、善良な企業市民としての責任遂行に尽力しています。

03



責任を果たす

倫理的にビジネスを行うという当社のコミットメントは、健全な財務上の選択から情報と資産の保護に至るまで、相互に、およびステークホルダーに対して責任を持つことを意味します。

倫理的な意思決定

コグニザントの規範は、全ての社員および関係者が日々実践すべき確かな判断に取って代わるものではありません。倫理的なジレンマや難しい決断に直面した場合は、行動に移す前に、以下の質問を自問してください。

- その行動は、法令に違反する可能性はありませんか？
- その行動は、本規範や各方針、あるいはビジネスパートナーが定める規程の趣旨や明文規定にする可能性はありませんか？
- その行動により、コグニザントのブランド、評判、またはビジネス上の関係性に悪影響を及ぼす可能性はありませんか？
- 他の社員および関係者、あるいは社外の人物が、その行動を不適切である、または誠実さに欠けると判断する可能性はありませんか？

判断に迷う場合は、そのままにせず適切な助言を仰いでください。私たちは皆、自らの決定に対して責任を負う覚悟を持たなければなりません。



A woman with dark hair, wearing glasses and a white jacket over a white turtleneck, is gesturing with her hands while speaking. She is in a bright, modern office setting with large windows in the background. Two coffee cups are visible on a table in the foreground.

懸念を表明する

懸念をお持ちですか？ 報告してください。安全でないと思われることや、非倫理的、もしくは違法な行為、あるいは本規範、各方針、または手順書の趣旨に反する行為を目撃した場合、あるいはそう疑うに足る誠実な根拠がある場合は、勇気を持って報告してください。コグニザントは、報告された全ての懸念を真剣に受け止めています。懸念を提起する方法は数多くありますが、状況に応じて最も適した報告方法を自由に選択してください。

懸念を提起する方法

- まずは身近なところから相談を始めるのがよいでしょう。多くの場合、直属の上司は状況を把握し、懸念に対して適切に対応できる立場にあります。
- 社員および関係者の皆さんは、コグニザントの倫理・コンプライアンスヘルプライン（詳細は [本規範を参照](#)）を積極的に利用することが推奨されます。電話またはウェブからアクセス可能なヘルプラインでは、24時間365日いつでも、質問や懸念事項の共有を行うことができます（希望に応じて匿名での利用も可能です）。ヘルプラインを通じて提供された情報は詳細に記録され、ヘルプラインオフィスに転送されます。

- 希望する場合は、コグニザントの法務部、人事部、または倫理・コンプライアンス部の担当者にいつでも直接相談することができます。
- また、最高倫理・コンプライアンス責任者に直接連絡をとっても構いません。

電子メール： chiefcomplianceofficer@cognizant.com

郵便物： Cognizant Technology Solutions
Attn: Chief Ethics & Compliance Officer
Glenpointe Centre West
300 Frank W. Burr Boulevard, Suite 36, 6th Floor
Teaneck, New Jersey 07666 USA

私たちは報復行為を決して容認しません

コグニザントは、倫理およびコンプライアンス上の懸念を誠実に報告した社員および関係者が報復を受けることがないように、最善を尽くしています。報復行為には、解雇、降格、停職、ハラスメント、排除、またはコンプライアンス違反や非倫理的行動の可能性について懸念を提起した個人を標的とするあらゆる行為が含まれます。ただし、その類型はこれらに限定されるものではありません。

報復行為を行った社員および関係者は、その国の法律が許容する範囲内で、解雇を含む懲罰処分の対象となります。自分自身または知人が報復を受けた疑いがある場合は、コグニザントが用意している報告方法のいずれかを通じて直ちに報告してください。

報告者に対する報復の禁止に関する詳しい情報については、[当社の内部告発者および報復禁止に関する方針を参照してください。](#)

倫理またはコンプライアンスに関する調査は、どのようなプロセスで進められますか？

懸念事項の 評価



報告された全ての懸念事項については速やかに確認が行われ、次のステップを決定するために評価が行われます。懸念を報告した人物には、評価を支援するために倫理・コンプライアンス部または人事部から連絡が入る場合があります。本規範またはその他の会社方針への違反を主張する懸念については、調査が行われます。役割、評価、業績管理、対人関係の紛争、またはその他の従業員関係の問題に関する苦情は、通常、調査プロセス外で対応するために人事部に照会が行われます。

懸念事項の 調査



調査の対象となる事項は、問題の内容や発生場所に依じて、倫理・コンプライアンス部または人事部の内部調査員に割り当てられます。調査担当者は、機密性、中立性、および徹底性に基づく標準プロセスに従います。調査担当者は、文書の確認や社員および関係者への面談を通じて情報を収集し、本規範または会社の方針への違反の有無を判断します。

調査の終了



不正行為に責任があると判明した人物には、人事部から懲戒処分についての通知が行われます。調査が終了した旨は、報告者に通知されます。具体的な調査結果および懲戒処分の決定内容は、機密として扱われます。適用される懲戒処分は、現地の法律や違反の具体的な状況によって異なり、例として口頭または書面による警告、経済的措置、あるいは解雇などが含まれる場合がある点に注意してください。

会社は、提起された懸念に対し、調査を実施することで対応する場合があります。会社の調査に関与することになった場合は、常に全面的に協力し、真実の情報を提供してください。自決して、独断で調査を開始しないでください。—会社には調査を遂行するための専門スタッフが配置されています。詳細については、[参考資料「会社の調査について知っておくべきこと」](#)を参照してください。

政府の調査

本規範のいずれの規定も、社員および関係者の皆さんが法律違反を政府機関に報告すること、あるいは、政府の調査に協力することを妨げるものと解釈されるべきではありません。政府の調査について質問がある場合は、法務部にご連絡ください。

管理職の責任

管理職に該当する者は、調査プロセスに関して以下の固有の責任を負います：

- 自ら報復行為を行わないことはもちろん、組織内の他者が報復行為を行うことも決して容認しないでください。
- チーム内での報復の兆候に注意を払ってください。報復は、報告から数か月後に発生したり、一見して分かりにくい形で行われたりすることがあります。
- 調査活動に関する機密性を維持してください。



信頼

信頼を得る

コグニザントは、信頼されるビジネスパートナーおよび法を遵守する企業市民であるよう常に努力しています。こうした目標を追求するにあたり、私たちは常に全ての適用法令を遵守し、日々の事業活動に倫理基準を一貫して取り入れることで、単なる法令遵守を超えた高みを目指さなければなりません。

腐敗行為の防止

コグニザントは、ビジネスパートナーや政府機関とのあらゆるやり取りにおいて透明性を維持することに尽力しています。その一環として、私たちは誠実に行動し、贈賄、不適切な支払い、約束、その他の非倫理的な取り決めによって、相手側の意思決定に影響を及ぼすことはしません。

贈賄などの行為は、倫理的に事業を遂行するという当社のコミットメントを裏切るだけでなく、世界各国の腐敗行為防止法（例：米国海外腐敗行為防止法、英国贈収賄防止法）に抵触する恐れがあります。また、会社および関与した個人が刑事罰を含む重大な法的リスクを負う結果を招きかねません。こうしたリスクは、政府機関や公務員とやり取りする際に最も高まります。



私たちは賄賂の授受を行いません。コグニザントの事業や業務において、ビジネスの獲得や何らかの利益を確保する目的で、賄賂を含む価値あるものの承認、申し出、約束または提供は、いかなる場合も決して行わないでください。同様に、賄賂、リベート、またはその他のいかなる不適切な利益も、要求したり受け取ったりしてはなりません。

私たちはファシリテーションペイメントを行いません。日常的な官公庁の事務手続きを迅速化するための便宜供与金（ファシリテーションペイメント）は明示的に禁止されています。このことは、特定の国や地域で通常の商慣行とみなされていたとしても同様です。

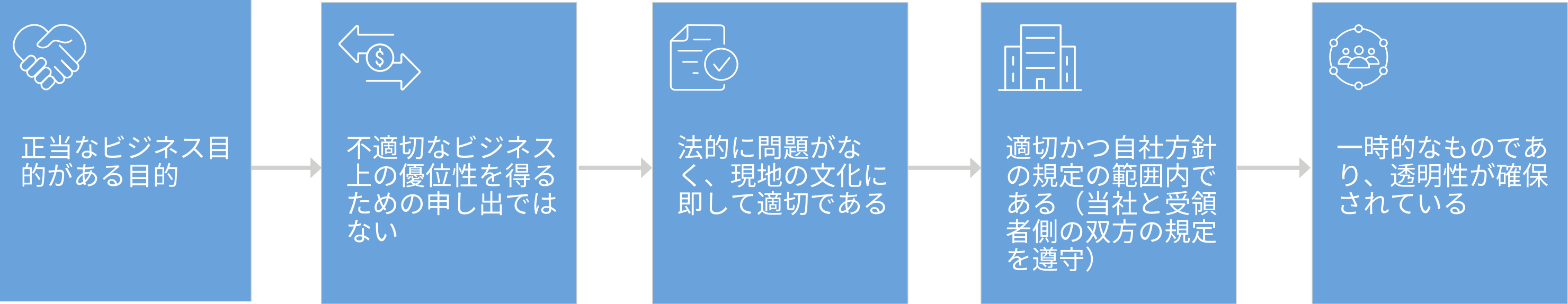
まず、コグニザントにおける「政府関係者」の定義を確認します。コグニザントでは、単に公職に就いている人物や政府機関に勤務する人物だけでなく、より広範なグループを政府関係者とみなしています。政府関係者の定義には、当社のクライアント企業のうち、全部または一部が国有または国の支配下にある企業の従業員も該当します。用語集で説明されているコグニザントの定義をしっかりと理解してください。

私たちは正確な事業活動の記録を行っています。会社の帳簿・記録には、いかに少額であっても、全ての商取引を正確に反映させる必要があります。帳簿・記録には、タイムシート、出張費および経費報告書、顧客への請求書、その他の記録が含まれます。

コグニザントは当社の方針を「回避しようとする」第三者を採用しません。コグニザントに代わって不適切な支払いを行わせたり、当社の方針および基準の下で禁止されている行為をさせたりするために、第三者を起用してはなりません。

贈答品および接待の授受は、必要に応じて、特定の状況下でのみ行われます。贈答品、食事、その他の厚意は、信頼関係の醸成に役立ち、ビジネス上の関係の強化につながります。ただし、厚意を示すものであっても、社会通念上過度と受け取られ得るもの、透明性に欠けるもの、または正当なビジネス目的と結び付かないものは、不適切と見なされ、汚職に関する懸念を招く可能性があります。適切な判断と節度を持って行動し、ビジネス上の厚意が合理的で、かつ定められた限度内に収まるようにしてください。当社の贈答品と接待に関する手順には、全ての社員および関係者が遵守すべき指針と具体的な承認要件が定められています。

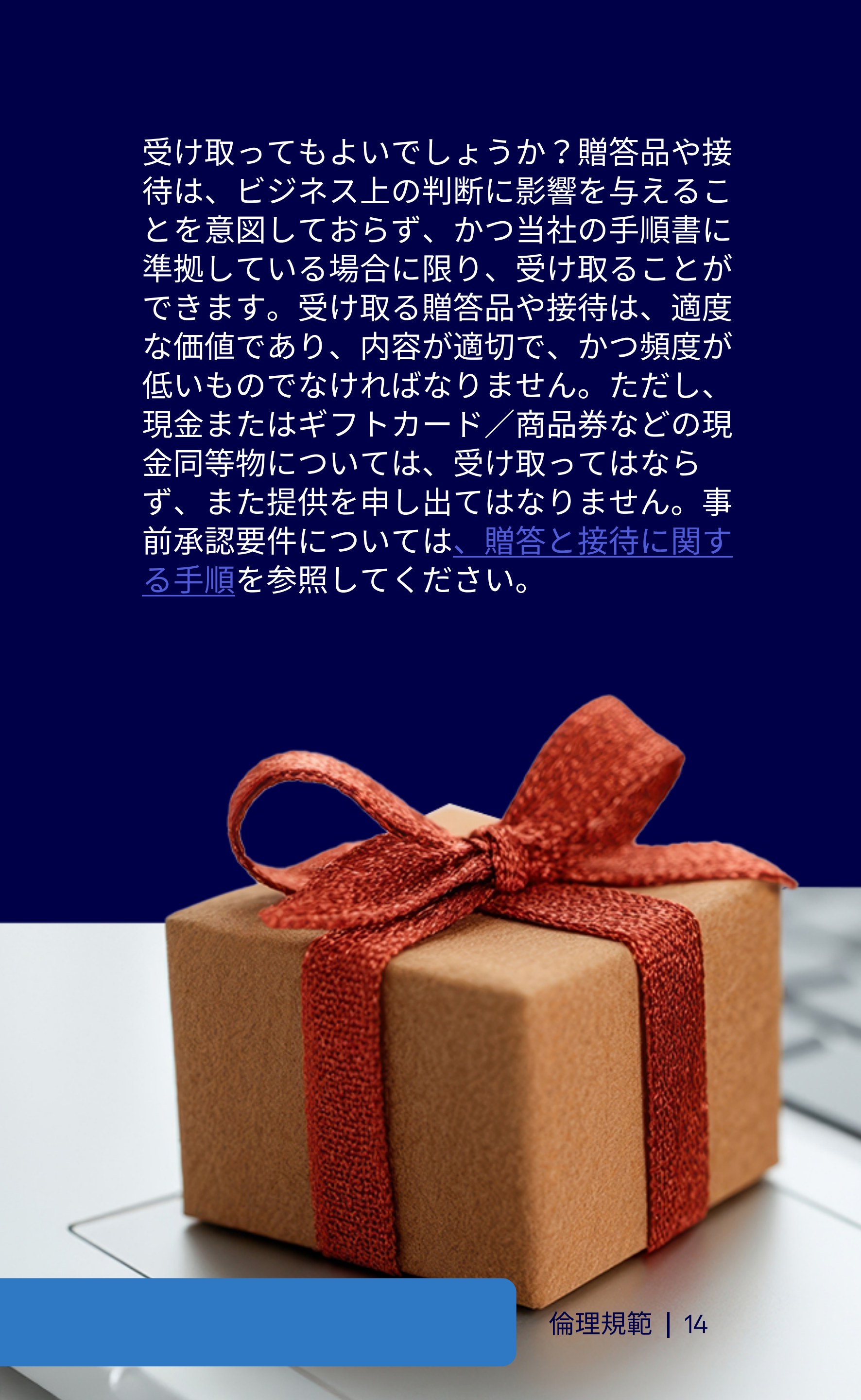
クライアント、パートナー、サプライヤーと適切に贈答品や接待を交換することは、信頼関係の醸成に役立ち、関係を強化することにつながります。コグニザントおよび多くの企業に適用される法令や規則を遵守するために、以下のヒントに従ってください。



管理職の責任

チームメンバーが提供を申し出、または受領する贈答品や接待を監視し、頻度が低く、特定の相手に対して繰り返し行われておらず、かつ贅沢な内容でないことを確認してください。「贈答と接待に関する手順」では、特定の状況において管理職による承認が必要となる点に注意してください。また、こうした承認は、対象となる贈答品や接待が同手順の全ての要件に合致する場合にのみ与えられるべきものです。

受け取ってもよいでしょうか？贈答品や接待は、ビジネス上の判断に影響を与えることを意図しておらず、かつ当社の手順書に準拠している場合に限り、受け取ることができます。受け取る贈答品や接待は、適度な価値であり、内容が適切で、かつ頻度が低いものでなければなりません。ただし、現金またはギフトカード／商品券などの現金同等物については、受け取ってはならず、また提供を申し出てはなりません。事前承認要件については、贈答と接待に関する手順を参照してください。



データプライバシーの尊重

コグニザントは、全ての事業活動において最高水準のデータプライバシーと保護を維持することに尽力しています。個人データの保護は、信頼を獲得し、グローバルなデータ保護法の遵守を確実にするだけでなく、新興技術による責任あるイノベーションを可能にするためにも不可欠です。

当社のプライバシープログラムは、[グローバルプライバシーポリシー](#)の指針に基づいています。全ての社員および関係者は、以下の内容を熟知しておく必要があります：

- 適法性
- 公平性と透明性
- 目的の制限
- データの最小化
- 正確性
- 保存期間の制限
- 安全性、誠実性、および機密性
- 説明責任

当社は、これらのデータプライバシーの原則に従って、取り扱うあらゆる個人データを保護し管理する責任を負います。個人データの保護対象には、当社がクライアントに代わって保持するデータに加え、同僚や、求職者、外部労働者、請負業者、以前の社員および関係者など、業務ライフサイクルに関わるあらゆる個人のデータが含まれます。個人データの保護責任は、当社に代わって個人データを処理する第三者と業務を行う社員および関係者にも及びます。当社は、個人データの取り扱いおよび使用に関し、当該第三者との契約において遵守すべき事項を明確に規定し、適切なデータセキュリティの取り決めを講じなければなりません。

当社は、個人データの不正な開示、誤った取り扱い、または紛失を直ちに報告します。さまざまな国・地域のデータ保護関連法令により、個人データの漏洩や紛失が発生した場合は、極めて短期間での報告が義務付けられています。したがって、適切なデータセキュリティインシデント報告の手段を通じて、迅速に報告を行うことが極めて重要です。

プライバシーオフィスは、業務で生じるプライバシーに関するあらゆる質問にいつでも対応します。

公正かつ正直な競争

公正な競争は単なる法的義務ではありません。イノベーションを促進し、クライアントやステークホルダーへの付加価値創出に不可欠な要素です。したがって、公正な競争の実践は、「Raise the Bar（さらなる高みを目指す）」や「Dare to Innovate（大胆に革新する）」といった当社の価値観を体現する活動の一部であり、同時に「正しいことを行う」ための基礎となるものです。当社の優れた人材とサービスの価値に基づいて精力的に競争に臨んでください。ただし、競争は常に適法かつ倫理的な方法で行わなければなりません。



コグニザントは競合他社の秘密情報についても配慮しています。市場において公正に競争するためには、競合他社の秘密情報を当社の秘密情報と同じように尊重しなくてはなりません。だましたり虚偽の説明を行ったりすることなしに、常に合法的かつ倫理的な方法によってのみ競合他社の情報を収集します。例えば、私たちは決して以下のことを行いません。

- 当社のカスタマーシステムへのアクセス権を利用して、プレゼンテーション、人員データ、または取引条件などの競合他社情報を検索したり、閲覧したりすることはありません。
- 競合他社出身の採用候補者や新入社員が、以前の勤務先に対して負っている守秘義務を無視することはありません。
- 当社自身では入手できない機密情報を収集するために、第三者を雇用または利用することはありません。

コグニザントは事業を営む国の反トラスト法や競争法を遵守します。競争を制限するために、競合他社と合意したり計画を立てたりすることは決してしないでください。価格、取引条件、財務実績、市場戦略、従業員報酬など、競争上機密性の高い話題について競合他社と話し合ってはなりません。競合他社がこうした話題を提起した場合は、丁寧にやり取りを打ち切り、速やかに倫理・コンプライアンス部または法務部に報告してください。

コグニザントの[グローバル競争方針](#)をよく理解し、不明な場合は必ず指示を仰いでください。

私たちは、倫理的な販売、マーケティング、およびデリバリーを実践しています。機密情報の悪用、事実の操作、隠蔽、不実表示、またはその他の不公正な取引慣行によって、不当な優位性を得ようとすることは決してあってはなりません。口頭または書面による販促資料を使って当社のサービスを伝達する際、内容は常に正確でなければなりません。競合他社について虚偽の表明をしたり、競合他社の製品、サービス、人材を誹謗中傷したりしないでください。当社の卓越性基準を満たすことが合理的見地から不可能な約束は避けてください。政府機関との取引には、入札、価格設定、納品に適用される法的要件や制限が伴う場合があることを認識し、そうしたビジネスチャンスを追追求する前に法務部に相談してください。

A close-up photograph of a computer keyboard. A white, rectangular key with the word "confidential" printed in black lowercase letters is placed over the keyboard keys. The background is a blurred image of the keyboard, showing keys like 'G', 'H', 'N', and 'B'.

インサイダー取引 の禁止

コグニザントは、自社証券の取引において公正かつオープンな市場を維持することに努めています。私たちは、重要な非公開情報に基づいて取引を行ったり、家族や友人に取引を許可したりすることは決してありません。コグニザントでの業務を通じて、私たちはコグニザントまたは他社（既存および潜在的なお客様、パートナー、または買収対象）に関する重要な未公表の情報を入手することがあります。当社には、社内外を問わず、こうした重要な未公表の情報を開示しない義務があります。また、当社および家族などの関係者が、その情報に基づいて取引を行わないように徹底しなければなりません。

コグニザントの社員および関係者は、インサイダー取引方針ならびに関連する方針と手順を完全に理解して遵守する必要があります。

国際貿易関連法令および出張要件の遵守

コグニザントでは、グローバルな事業展開において、国際貿易コンプライアンスに対する認識とコミットメントが不可欠です。グローバル化が進む今日においては、貿易関連法令の遵守は単なる法的義務にとどまりません。社員、クライアント、そして当社の評判を守るとともに、国境を越えたイノベーションの提供を滞りなく続けるための土台にもなります。

当社は、当社のグローバルビジネスに適用される全ての貿易関連法令および規制を遵守します。こうした法規制には、禁輸措置、経済制裁、輸出管理、輸入要件、およびボイコット禁止規制などが含まれます。また、こうした法規制は、物品、サービス、ソフトウェア、技術の輸出入方法など、当社のビジネスの多くの側面に適用されます。場合によっては、特定の国、政府、個人との取引が制限または禁止されることがあります。

社員および関係者は、[世界貿易コンプライアンス方針](#)に説示されている通商禁止法域および制限の種類を熟知し、グローバル貿易コンプライアンスチームに連絡して指示を仰ぐ必要があります。

また、当社は人員の国際的な移動を伴うグローバル企業として、出張であれ長期の転勤であれ、業務を行う国・地域の入国管理（移民）法令を把握し、遵守する必要があります。全ての社員および関係者は、コグニザントの業務に関連して海外へ赴く前に、グローバルモビリティチームと相談の上、必要な就労許可またはビザを取得しなければなりません。海外で業務を行うために渡航する際には必ず、事前にグローバルモビリティチーム、人事、および上司から承認を得てください。



マネーロンダリングの防止

コグニザントは、マネーロンダリングや犯罪活動への資金調達に当社が利用されることを防ぐために尽力しています。マネーロンダリングとは、犯罪活動によって得られた収益を金融システムを通じて移動させ、それが犯罪に由来することを隠蔽する行為を指します。多くの場合、合法的に見える企業との取引を通じて行われます。当社は、第三者が不法な資金の出所を隠蔽しようとする試みを防ぐため、マネーロンダリング防止に関連するあらゆる法令を遵守します。

当社は、取引相手を把握します。当社は、正当な事業活動に従事する、信頼できる相手とのみ取引を行います。クライアント、サプライヤー、およびビジネスパートナーに対して適切なデューデリジェンスを実施するための全ての手順に従い、不審な取引や支払い要求、あるいは実質的支配層（オーナー）や行動パターンの疑わしい変化がないか監視してください。こうした不審な活動や変化に気付いた場合、またはその疑いがある場合は、財務部、倫理・コンプライアンス部、または法務部に直ちに報告してください。



「信頼される取引」のための方針、手順書、リソース

[腐敗行為防止に関する方針](#)

[贈答と接待に関する手順](#)

[米国の公共部門との事業活動に関する方針](#)

[グローバル慈善寄付方針](#)

[第三者の選定と維持のための腐敗行為防止手順](#)

[政府クライアントリスト](#)

[グローバル競争方針](#)

[世界貿易コンプライアンス方針](#)

[インサイダー取引に関する方針](#)

[コグニザント倫理・コンプライアンスポータル](#)

[マネーロンダリング防止手順](#)

[第三者からの紹介における腐敗行為防止コンプライアンスの手順](#)

[グローバルプライバシーポリシー](#)

[社員・関係者のプライバシーに関する通知](#)

尊重

人と環境を大切にする

コグニザントは、人を大切にする企業です。当社のコアバリューの1つは、「Work as One（ひとつのチームとして働く）」ということです。これは、各々の役割や役職を超えて考え、チームとして成果を上げるめにお互いの強みを活かし合うことを目指す考え方です。チームとして協力することで、もう1つのコアバリューである「Raise the Bar（さらなる高みを目指す）」を実践し、業務遂行と成果物の提供の両面において卓越性を追求することができます。チームは、公正性、敬意、そして安全性の基盤の上に築かれた環境でこそ、その力を発揮できます。多様性が尊重され、アイデアを自由に表現できるとき、チームは最大の強みを発揮します。

ひとつのチームとして働き、さらなる高みを目指すには、コグニザントの一員として意欲的に取り組み、貢献することが求められます。こうした連帯責任の意識は、当社が事業を展開するコミュニティや環境にも及んでいます。



最高水準のプロ意識を維持する

私たちは、同僚に敬意をもって接します。コグニザントでは、同僚に対する不適切な扱い、無礼な言動、または虐待的な行為は一切認められません。ピープルマネージャーは、自ら模範となって指導することが期待されています。管理職としての責任やその他の権限ある立場を悪用して、当社のプロフェッショナルリズムの文化を損なったり、個人的な利益を得たりすることは決してあってはなりません。

私たちは、相手に敬意を払い、適切にコミュニケーションを取ります。

同僚、クライアント、および共に働く人々とのコミュニケーションにおいては、相手への配慮を忘れないでください。個人のソーシャルメディア活動が職場環境に影響を及ぼす可能性があることを認識してください。ハラスメントや差別と解釈される恐れのある投稿、同僚やクライアントのプライバシーを侵害する投稿、個人や会社を脅迫・侮辱するような投稿は避ける必要があります。

私たちは、コグニザントの代表として行動します。

私たち一人ひとりのプロフェッショナルリズムや振る舞いは、クライアント、ビジネスパートナー、サプライヤー、そして将来の従業員が抱くコグニザントへの印象に影響を与える可能性があります。オフィス、オンライン、出張、会議、イベント、あるいは採用活動など、どのような場面においても、自身の評判とコグニザントの信頼が自分たちの行動にかかっているという自覚を持って振る舞ってください。

人権の尊重

コグニザントは世界各地で展開する事業において人権の保護に努めています。コグニザントで働く者は皆、差別、ハラスメント、報復のない職場環境、および現地の法律に基づく公平な賃金と時間で働く権利を持ちます。

当社は、いかなる形態の現代奴隷制度も容認しません。当社は、あらゆる形態の現代奴隷制度の慣行を防止することに尽力しており、児童労働、強制労働、奴隷労働、または人身売買を利用することも、容認することはありません。当社は、こうした行為に関与する第三者とは取引を行いません。

環境責任への取り組み

私たちは、環境に配慮した方法で事業を行うことを約束します。

環境フットプリントの削減に貢献し、世界に与える当社の影響がポジティブなものであることを確実にするような持続可能な取り組みを実践しています。業務を行う国で適用されている環境に関する法律、規制、基準を常に遵守してください。



互いの健康と安全を守る

当社の成功は、社員全員が職場での安全を実感できるかどうかにかかっています。

- 私たちは、安全な職場環境を維持します。
- 私たちは、必要な許可、承認および管理のもとで全ての事業活動を行います。
- 私たちは、職場における暴力、暴力により威嚇、脅迫、いじめ、またはいかなる形態のハラスメントも容認しません。
- 私たちは、薬物やアルコールを摂取した状態で勤務することを容認しません。
- 私たちは、当社の敷地内または業務中に違法薬物を使用、販売、または所持することを禁じています。

職場で危険な状況に遭遇した場合は、直ちに上司・管理職、企業セキュリティ部門、倫理・コンプライアンス部、または人事部に報告してください。

人々を公正に扱い、差別とハラスメントを禁止する

当社では採用判断を実力に基づいて行います。公正さと尊敬をもって他人に接し、各々の個人的な貢献を評価します。求人、雇用、研修、昇格、解雇、または雇用条件の設定など含む、雇用に関する意思決定全般において、人種、肌の色、宗教、性的自認や性表現、年齢、国籍、性的指向、婚姻区分、障害、兵役経験、軍隊経験などの法律上保護されている特性に基づく差別を行うことは禁じられています。差別やハラスメントを含め、雇用機会均等に関する適用法を全て遵守しなくてはなりません。

私たちは、差別的行為、権力の乱用、報復、性的ハラスメントを含むいかなる種類のハラスメントも、一切容認しません。また、法的に保護されている他人の特性について、冗談、中傷その他の否定的な発言をすることは、性的な内容のものを含め、避けなくてはなりません。いかなる場合においても、業務を行う場所（コグニザントやクライアントのオフィスなど）または業務関連の活動やイベントを行う場所（レストラン、ホテル、カンファレンスセンターなど）を問わず、攻撃的、暴力的、差別的、虐待的、報復的、または敵対的な環境を容認、奨励、または作り出してはなりません。

「他者の尊重」に関連する関連方針およびリソース

[環境・安全衛生に関する方針](#)

[人権方針](#)

[ハラスメント、差別および職場におけるいじめの防止に関するグローバル方針](#)

[ソーシャルメディア方針](#)

[内部告発者および報復禁止に関する方針](#)

国別の方針と情報については、[人事方針サイト](#)を参照してください。

[持続可能性と企業市民サイト](#)





責任

責任を果たす

当社のコアバリューの1つに「Own It（自ら責任を果たす）」があります。これは、会社として、クライアント、株主、そして社員に対してもたらす成果に対し、私たち全員が共通の責任を負うことを示す考え方です。

最善の結果を出すために、私たちは全員、会社のオーナーのつもりで行動し、その成功と評判に当事者意識を持つ必要があります。そのために、当社およびクライアントの機密情報と資産を守り、健全な財務管理に努め、当社業務に適用される所定の手順およびプロトコルを全て遵守する必要があります。また、意思決定にあたっては適切な判断を行い、権限の範囲内で対応するとともに、必要に応じて上司・管理職にエスカレーションするか、関係分野の専門家に助言を求める必要があります。

情報セキュリティの確保

情報セキュリティの肝は、警戒心、常識、および適切な判断力です。そこで、次の重要なポイントを念頭に置いてください。

情報の保護に関しては、必要最小限（need-to-know）の原則に基づき、情報共有の範囲を限定していません。正当な業務上の必要性がない限り、機密情報やその他の保護対象情報にアクセスしてはならず、また、それらの情報を取り扱ったり保持したりしてはなりません。同様に、情報を共有するのであれば、相手先は正当な業務上の必要性を持つ者に限定してください。また、こうした情報に追加の法令上・契約上・社内方針上の制限が適用されるかを確認し、該当する場合はそれらを遵守してください。

当社は、コグニザントまたはクライアントが承認したデバイス、ツール、およびソフトウェアを使用して業務を行います。コグニザントまたはクライアントのコンピュータに、許可されていないソフトウェアをダウンロードしないでください。また、インストールもしてはなりません。必要な全ての許可を事前取得せずに、コグニザントまたはクライアントの業務において、未承認の第三者ソフトウェア、アプリ、またはクラウドベースのサービスを使用してはなりません。同様に、未承認のメッセージングアプリを使って、業務に関する連絡や協議を行ってはなりません。

会社およびクライアントの資産、システム、財産の使用に関する警戒を怠らないことも、情報セキュリティにとって極めて重要です。

- コグニザントの利用規定をよく読んでおいてください。
- クライアントのシステムや技術を使用する場合、契約上の全ての義務を理解し遵守してください。
- 会社およびクライアントのデバイスの紛失や盗難、および施設への不正アクセスを防止してください。
- たとえ同僚であっても、また、業務を遂行する目的であっても、パスワードや認証情報を決して共有しないでください。

私たちは、情報セキュリティに関する全てのインシデントを企業セキュリティ部門に速やかに報告します。

オンラインでの報告

[MyService Portal](#)

メールによる報告

CorporateSecurity@cognizant.com

または、次のいずれかのフリーダイヤル番号に電話してください。
1800-572-0473（インド）、
0800-678-1616（英国）、または
1-866-822-2024（米国）。

一般的に承認されていないツールやソフトウェアの使用許可の要請など、情報セキュリティに関する問い合わせは、企業セキュリティ部門に行ってください。

機密情報と知的財産の保護

機密情報の定義は広範に及びます。したがって、会社の事業活動、業績、業務、または社員に関する非公開情報も、機密情報に該当し得ると考えてください。例としては、戦略計画、財務情報、価格設定情報、またはコスト情報、お客様リスト、契約条件などがありますが、これらに限定されません。

コグニザントの機密情報は、当社の最も重要な資産の1つです。クライアントやビジネスパートナーについても同様です。当社がこうした相手方に代わって保有する機密情報、または相手方の環境でアクセスできる機密情報は、相手方にとって非常に重要です。機密情報の取り扱いを誤ると、当社およびクライアントの競争上の優位性が損なわれる可能性があります。

私たち全員に、関連する社内規程および手順に従って、業務の過程で取り扱う機密情報を管理し、保護する責任があります。この義務は会社を退職した後も継続します。退職後も、会社（またはクライアント）の情報の機密性を維持し、全ての文書および電子的に保存されたファイルを返却しなければなりません。また、以前の雇用主の機密情報を尊重しなければなりません。以前の雇用主の機密情報や文書は、自身が作成したものであってもコグニザント内で共有してはならず、また、同僚に対しても、以前の雇用主の機密情報や資料を共有するよう求めてはなりません。

同じ原則が知的財産にも当てはまります。当社の競争上の優位性と評判を維持するために、当社、クライアント、競合他社、ビジネスパートナー、および以前の雇用主のアイデアを保護する必要があります。第三者のソフトウェアやコード、コンテンツ、または著作権で保護された資料にアクセスまたは使用する前に、必要なライセンスや承認を取得し、他者の知的財産権を尊重してください。なお、利用できる状態にあるからといって、必ずしも使用許可が得られているわけではありません。

機密情報または知的財産の不正使用については、倫理・コンプライアンス部または法務部に報告してください。

利益相反の回避と管理

私たちの個人的な利害が、コグニザントでの業務と衝突することがあります。利益相反は、私たちの社外活動、利害、または対人関係が、コグニザントにとって最善ではない意思決定を行う動機を生み出す、またはそのように見える場合に生じます。潜在的な利益相反は、次の場合に発生する可能性があります。

- 副業
- 取締役およびその他の組織的役割を務めること
- 金融投資および資金調達
- 親密な個人的関係にあること
- 会社の事業機会の私的利用
- 贈答および接待

私たちはコグニザントの最善の利益のためにのみ事業を行います。個人の利害をコグニザントの利益よりも優先してはなりません。そうした行為は、利益相反が現に生じている状態を招き、認められません。私たちは、コグニザントでの職務において、自分の利害に関わる案件について意思決定を行うことは決してありません。同様に、個人的な利益を得るためにコグニザントとの関係を使用してはなりません。

私たちは、潜在的な利益相反を見極め、開示（報告）します。コグニザントは、社員および関係者が利益相反を引き起こす可能性があることが合理的に予想されるあらゆる状況を開示することを要求しています。利益相反を引き起こす可能性のある状況、または他者が利益相反として合理的に認識する可能性のある状況があると思われる場合、当社の[利益相反ポリシーの規定に従って上司または倫理・コンプライアンス部に報告する必要があります](#)。開示（報告）は、早ければ早いほど望ましいといえます。

利益相反が存在すること自体が、不正行為を意味するわけではありません。多くの場合、追加の対応をほとんど、あるいは全く必要とせずに解決できますが、より強力な介入を要する場合があります。効果的な管理の鍵となるのは迅速な情報開示であり、それによって業務の正当性と透明性が確保されます。これを怠ると、あなた自身の評判だけでなく、コグニザントの信頼、さらにはクライアントやサプライヤーとの関係が損なわれる恐れがあります。

管理職の責任

- チームメンバーが、親しい個人的関係に関わるものも含め、利益相反を認識できるようにし、問題があれば速やかに対処してください。
- 組織や候補者との間に個人的なつながりがある場合は、それを公表し、関連するコグニザントの意思決定の公正性が損なわれないよう、適切な措置を講じる必要があります。
- 自身の権限の範囲内で利益相反を承認するための基準を理解してください。
- 承認済み（解消済み）の利益相反についても、再評価が必要となり得る変更がないか継続的に確認してください。

利益相反の特定に役立つ主な質問

- 自分の利益のために、会社のリソースを使用していますか？
- コグニザントのために行う意思決定に影響を与えられる関係がありますか？
- 当社と取引がある、または当社と競合する企業に、出資（株式等の持分）がありますか？
- 仕事以外で行っていることや自分自身の人間関係に基づいて、誰かが自身の判断に疑問を投げかけるでしょうか？

新しいテクノロジーと人工知能（AI） を責任を持って使用する

コグニザントでは、人々がテクノロジーを活用できることが重要だと考えています。人工知能（AI）を含む新たなテクノロジーを当社のソリューションや業務に継続的に取り入れるにあたり、当社は、それらの活用が倫理的で透明性があり、当社のコアバリューに沿ったものとなるよう努めています。

コグニザントの「責任あるAI（Responsible AI）」の枠組みは、信頼を基盤としており、安全性・信頼性に関する最高水準を確保するとともに、人が主体的に力を発揮できるようにすることを重視して設けられています。AIの使用にあたっては、以下の「[責任あるAI原則](#)」に従って行動してください。

- 透明性、説明可能性、トレーサビリティを考慮した設計を行うこと。
- 公平性、包括性、アクセシビリティを促進すること。
- 個人情報保護し、AIシステムを脅威や脆弱性から守ること。
- 人間の説明責任と参加を可能にすること。
- 一貫して意図した通りに機能する、堅牢で安全なシステムを開発すること。
- 環境や社会への影響を考慮しながら、時間の経過とともに成長し適応できるAIソリューションを生み出すこと。

当社の「責任あるAI原則」は、社内用かクライアント向けサービスの一部かを問わず、コグニザントが開発、使用、または展開する全てのAIシステムに適用されます。これらの原則は、データの収集から設計、展開、監視、廃棄に至るまで、AIライフサイクルに関与する全てのコグニザントのチームに適用されます。AIの可能性を取り入れるにあたり、倫理的な問題に対処し、進化するグローバルな基準や規制との整合性を確保するためのガイダンス、トレーニング、フレームワークを提供する「[責任あるAIハブ](#)」を活用してください。

優れた財務スチュワードシップの実践

私たちには、会社の資産を適切に管理し、ステークホルダーに対する責任を果たす義務があります。上場企業として、当社は米国証券取引委員会およびその他の規制当局に対して、正確な財務情報を適時に開示しなければなりません。また、全ての社員および関係者は、それらの開示情報の正当性を維持する上で重要な役割を担っています。いかなる例外もなく、当社の財務上の意思決定および報告の中核には、何よりもまず誠実さがなければなりません。



私たちは、会社の利益に最も資する財務上の決定を行います。常に会社のリソースを賢明かつ慎重に使用し、支出が全ての関連するコグニザントの方針と手順に沿っていることを確認してください。そうすることで、会社の資産を保護するだけでなく、全社的な成果と持続可能性にも貢献します。

私たちは、時間と経費を正確に入力し、全ての取引を帳簿、記録、および勘定科目に記録して裏付けを取ります。正確な財務諸表および請求書を作成するための前提条件として、当社の勘定および記録は、例外なく、全ての活動および取引を適切かつ適時に反映しなければなりません。コグニザントは、いかなる種類の不正行為についても一切容認しません。これには、帳簿および記録への虚偽または誤解を招く記載、ならびに、クライアントまたは当社が取引関係にある第三者に対する不正確な請求書の発行や不正な請求が該当します。

機密性の高い財務データを第三者に対する開示から保護する。機密性の高い財務データは、知る必要性があり、かつそれを受け取る権限がある人物とのみ共有してください。コグニザントの機密性の高い財務データを第三者に送信する前に、必要な予防策を全て講じて、情報の機密性とセキュリティを確保してください。これには、暗号化や安全な通信チャネルの利用、および受信者の本人確認とデータ受領権限の確認などが含まれます。

管理職の責任

- ピープルマネージャーおよびプロジェクトマネージャーは、財務スチュワードシップにおいて特に重要な役割を担っています。
- 経費報告書を精査し、適切な文書化が行われているか、また全ての方針およびガイドラインに適合しているかを確認してください。
- 適切に裏付けられ、詳細が十分に記載された請求書のみを承認するようにしてください。
- 会社の資金が、意図された目的にのみ使用されるよう徹底してください。

調達

健全な調達実務と優れた財務管理は、密接に関係しています。私たちは、便宜供与や個人的な関係、紹介などを理由に、調達に関する意思決定を行いません。これらの決定は、コスト、品質、およびコグニザントの最善の利益に基づくものでなければなりません。物品およびサービスの取得に関する方針の要件に従い、調達チームに相談して、会社の資産の適切な支出を確保してください。

慎重かつ思慮深いコミュニケーション

ソーシャルメディアやオンラインコミュニティを通じたコミュニケーションは、人脈を広げ、当社の強みや提供価値を発信し、当社の認知度と評判を高めることにつながります。ただし、社外に向けた発信は、コグニザントの事業、クライアント、そして当社の評判に実際の影響を及ぼし得ることを認識しておくことが重要です。オンラインやソーシャルメディアでの活動を含め、外部とのコミュニケーションにおいて適切な判断を下す責任は、あなた自身にあります。以下のガイドラインに従ってください。

許可がない限り、会社を代表して外部とコミュニケーションをとることはありません。コグニザントの公式声明は常に誠実かつ正確である必要があります、公式な立場を伝えることができるのは権限のある個人のみです。コグニザントを代表して行う全てのコミュニケーションは、[外部コミュニケーション方針](#)に概説されている基準の範囲内で行う必要があります。書面による必要な許可がない限り、コグニザントを代表してコミュニケーションをとらないでください。メディアやアナリストからの問い合わせは全て、[外部コミュニケーション部門](#)に集約し、同部門の管理下で対応しなければなりません。

私たちは、責任を持ってソーシャルメディアを利用します。個人のソーシャルメディア活動がコグニザントの評判に影響を与える可能性があるため、常に適切な判断に基づき、礼儀をもって行動してください。コグニザント、クライアント、およびビジネスパートナーに関する非公開情報は、絶対に他者に共有しないでください。文脈によって受け取られ方は変わることを意識してください。コグニザントの発言として受け取られ得る事柄についてコメントする場合は、それがあくまで個人の見解であり、コグニザントの見解ではないことを明確にしてください。



責任をもって記録を管理する

私たちは合法的かつ責任をもってビジネス記録を保持し、処分します。社員および関係者が業務の過程で作成した記録は全てコグニザントの資産であり、資産としての扱いに準じて適切に管理する必要があります。常に自身が所属する拠点やプロジェクトに適用される[記録保持方針](#)および関連する文書保管一覧表に従い、該当の文書保管一覧表の要件および/または訴訟ホールド通知を遵守して記録文書を処分しなくてはなりません。



[責任ある行動に関する関連方針およびリソース](#)

[利用規定](#)

[物品およびサービスの取得に関する方針](#)

[利益相反に関する方針](#)

[外部コミュニケーション方針](#)

[財務スチュワードシップ方針](#)

[知的財産に関する方針](#)

[記録保管方針](#)

[責任あるAIハブ](#)

[ソーシャルメディア方針](#)

全員が果たすべき役割

私たち全員の責任：

社員および関係者一人ひとりが、誠実さを重んじる当社の文化を維持・向上させる責任を担っています。それは単に「正しいこと」であるだけでなく、卓越性へのコミットメント、そして責任ある企業市民としての姿勢に不可欠な要素でもあります。会社のあらゆるレベルの社員および関係者には、以下のことが求められています。

- 常に誠実かつ正直に行動し、正しい判断を下すこと。
- 成功へのプレッシャーに負けて、間違っているとわかっている行為に手を染めないこと。当社の行動規範に違反する行為を誰かに強制する権限は、たとえ誰であっても持っていません。
- 自分の業務に適用されるあらゆる社内方針、手順、および法律を遵守すること。
- 割り当てられた全てのトレーニングを完了すること。それが最も効果的な学習方法です。
- 不正行為や非倫理的な行動を目撃したり、その疑いを持ったりした場合は、声を上げること。それは常に「正しい行動」です。

管理職が果たすべきさらなる責任：

コグニザントの管理職には、さらに高い基準が求められます。管理職に該当する者は、誠実に業務を遂行し、倫理的な行動を自ら体現して促進するとともに、部下や同僚が常に正しい行動をとれるよう支援する特別な責任を負っています。管理職としての皆さんに期待されていることは、以下の通りです。

- 自らが本規範の原則を遵守し、手本を示すことで、チームに自律した行動を促すこと。
- 当社のコアバリューと、誠実であることの重要性について、日頃からチームメンバーと対話すること。
- 困難な状況から逃げずに立ち向かい、判断に迷うときはいつでも関係者に指示を仰ぐこと。
- 個人的な事情や人間関係に基づくえこひいきを排し、公平な判断を下すこと。
- チーム内で尊重し合い、協力し合う文化を醸成すること。
- チームメンバーが報復を恐れることなく意見を共有し、懸念を報告できる安全な環境を整えること。
- 社員の懸念に真摯に耳を傾け、必要に応じて適切な社内チームに報告（エスカレーション）すること。

コグニザントの倫理・コンプライアンスヘルプラインへのアクセス

オランダ

0800-022-9111

、続けて

866-824-4897にダイヤルしてください。

ドイツ

0-800-225-5288

、続けて

866-824-4897にダイヤルしてください。

米国とカナダ

1-866-824-4897

英国

0800-89-0011

、続けて

866-824-4897にダイヤルしてください。

インド

000 117

、続けて

866-824-4897にダイヤルしてください。

フィリピン

105-11

、続けて

866-824-4897にダイヤルしてください。

シンガポール

800-011-1111

、続けて

866-824-4897にダイヤルしてください。

ブラジル

固定電話：0-800-890-0288

、続けて866-824-4897にダイヤルしてください。

携帯電話：0-800-888-8288

、続けて866-824-4897にダイヤルしてください。

オンラインで倫理・コンプライアンスヘルプラインを利用する場合には、www.cognizant.com/compliance-helplineにアクセスし、指示に従って通報を行ってください。

電話で通報を行う場合には、自身の居住国に割り当てられた電話番号にかけて指示に従ってください。

その他の国：

国別アクセスコード + 866 824 4897

その他のAT&T Directアクセスコードは、<https://www.business.att.com/collateral/access.html>でご確認いただけます。

コグニザントの倫理・コンプライアンスヘルプラインは第三者プロバイダーが運営するもので、電話またはインターネットを通じて24時間年中無休で利用することができます。違反の疑いや懸念の報告は、その国の法律が許容する範囲内で、匿名で行うことができます。しかし、追加の情報を得る必要がある場合のために、報告を行う際に名前を名乗ることを検討して下さるようお願いします。報告者の身元情報は、法律で許容される範囲で可能な限り厳重な秘密扱いとなります。社員および関係者の皆さんがアドバイスを求める場合には、倫理・コンプライアンスヘルプラインの質問マネージャーに問い合わせてください。



コグニザント (Nasdaq-100: CTSH) は、最新のビジネスを創り出しています。テクノロジーの最新化、プロセスの再構築、エクスペリエンスの変革を実現することで、移り変わりの激しい現代社会でクライアントが優位に立てるようサポートします。お客様ともに、日常生活を向上し続けています。詳しくは、www.cognizant.com または @Cognizantをご覧ください。

世界本部

300 Frank W. Burr Blvd.
Suite 36, 6th Floor
Teaneck, NJ 07666
Tel : (201) 801 0233

欧州本部

280 Bishopsgate
ロンドン
EC2M 4AG
イングランド
Tel: +44 (01) 020 7297 7600

インド本社

Siruseri-Software Technology Park of India (STPI)
SDB Block – Ground Floor North Wing
Plot No H4, SIPCOT IT Park
Chengalpattu District
Chennai 603103, Tamil Nadu
Tel: 1800 208 6999

APAC本部

1 Fusionopolis Link,
Level 5 NEXUS@One-North,
North Tower, Singapore 138542
Tel : +65 6812 4000

© Copyright 2025—2027, Cognizant. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、コグニザントの書面による明示的な許可なしに、電子的、機械的、複写、記録、その他のいかなる形式または手段によっても、複製、検索システムへの保存、転送を行うことはできません。本書に記載されている情報は、予告なく変更されることがあります。本書に記載されている他の全ての商標の所有権は、それぞれの所有者に帰属します。